

## 要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果について

### 【ホテル・旅館】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	のと楽 本館	石川県七尾市石崎町香島一丁目14番地	旅館	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版) (鉄骨が充腹材の場合)	$I_s/I_{so} = 1.04$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.49$	-	-	耐震改修済
2	加賀屋 渚亭	石川県七尾市和倉町3部80番地	旅館	指針第1第二号に定める建築物の耐震診断方法	$I_s = 0.406$ $q = 0.812$	耐震改修	令和4年	

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I	II	III
指針第1第二号に定める建築物の耐震診断の方法		$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{Tu} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{Tu} \cdot S_D$

I. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い

II. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある

III. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い

(※)震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずる恐れは少なく、倒壊するおそれはないとされている。

(※)備考欄に記載がない場合は、 $Z=1.0$ 、 $G=1.0$ 、 $U=1.0$ として評価を示す。